

令和 7 年度議会による行政評価結果について

令和 7 年度泉佐野市議会行財政委員会では、当委員会において選定した施策について、委員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり議会による評価を決定し、令和 8 年度以降の事業と予算についての対応を期待する。

記

施策名 「地域で自分らしく暮らすための支援」

施策の方向性 「現状維持」

評価集約

施 策	拡充	現状維持	縮小
地域で自分らしく暮らすための支援	3	5	0
施策を構成する事務事業	拡充	現状維持	縮小
高齢者の生きがいと健康づくり事業	0	8	0
高齢者入浴利用料助成事業	2	6	0
包括的支援事業	6	2	0
一般介護予防事業	4	4	0
認知症総合支援事業	4	4	0

意見集約

団塊世代が後期高齢者となる2025年を迎えるにあたり、本施策の重要性を多くの委員が共有していることを確認し、評価の方向性としては、「現状の取組を基盤としつつ、今後の社会状況の変化に応じて施策を発展させていくべきである」との意見に集約しました。施策の基本理念を市民が実感できる成果へと結びつけるために、各事業の指標と施策全体のKPIとの連動性を高め、実効性をさらに向上させていただきたい。

以下、当該施策を構成する事務事業 3 事業について、特に包括的支援事業では、多様な相談に対応する人員体制の強化は多くの委員の要望であり、地域ボランティア等による人のつながりの構築、各地域センター間のサービス格差の解消、ICTによる継続性の確保など、今後も高齢者が安心して暮らせる地域包括ケア実現の拡充を求めます。

次に、現状維持と拡充を求める意見が同数であった 2 事業、まず一般介護予防事業では、市民が参加しやすい環境づくりの強化を図ってください。認知症総合支援事業では、早期発見から切れ目のないケア体制の充実と家庭・地域が一体となって支える仕組みの強化を求めます。これらの事業については縮小を求める委員はおらず、より一層のご尽力をお願い申し上げます。

以上の意見を踏まえ、市民の皆さまの人生基盤に安心と希望を与えていただきますよう益々の施策発展をお願い申し上げます。